京都大学国際科学イノベーション棟

実験計画書

西暦　　　　年　月　日

|  |  |
| --- | --- |
| 機関名 |  |
| 部屋番号 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　　目 | 内　　容 |
| 1. 実験従事者人数
 |  |
| 1. 実験題目と概要
 |  |
| 1. 付帯工事計画
 |  |
| ４．使用する主な薬品の種類と数量※必要に応じて欄は追加してください。 | 種類・名称 | 年間使用量（単位） | 使用目的 | 保管状態 | 導入予定日 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| ５．高圧ガス、溶融金属溶融ガス※必要に応じて欄は追加してください。 | 種類・名称 | 年間使用量（単位） | 使用目的 | 導入予定日 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ６．火気使用又は高温を発する機器※必要に応じて欄は追加してください。 | 種類・名称 | 量（単位） | 使用目的 | 導入予定日 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ７．必要電器容量合計 | 単相 | 三相 |
|  |  |
| ８．大重量機器について※必要に応じて欄は追加してください。 | 名称 | 寸法 | 重量（単位） |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| ９.騒音・振動の発生の有無及びその対策について |  |
| 10．臭気の発生の有無及びその対策について |  |
| 11.有害廃棄物の発生の有無及びその処理方法について |  |
| 12.有害排水の有無及びその処理方法について |  |
| 13.有害排気の有無及びその処理方法について※PRTR法指定物質のうち該当するものを申告してください。PRTR法指定物質でないものでも新規物質等で有害である可能性のあるものはすべて申告してください。また無害化等の処理方法を記入してください。 |  |
| 14.労働安全衛生計画 |  |
| 15.その他 |  |

京都大学国際科学イノベーション棟

実験計画書（記入例）

西暦xxxx年xx月xx日

|  |  |
| --- | --- |
| 機関名 | よしだ技研株式会社 |
| 部屋番号 | xxx号室 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　　目 | 内　　容 |
| 1. 実験従事者人数
 | 5名〇〇　〇〇（よしだ技研株式会社研究員）〇〇　〇〇（よしだ技研株式会社研究員）〇〇　〇〇（よしだ技研株式会社研究員）〇〇　〇〇（工学研究科　講師）〇〇　〇〇（工学研究科　大学院生（修士2回生）） |
| 1. 実験題目と概要
 | 題目：高感度バイオセンサーの開発概要：概要を示した上で、当該施設で実施する作業内容との関連性を明記 |
| 1. 付帯工事計画
 | １）実験用流し台の設置２）シリンダーキャビネットの設置（排気系およびガス配管含む）３）局所排気装置の設置４）その他、各種法令に伴う届出が必要な工事１）～４）の工事を実施する際には、その計画と仕様を別添資料として提出する。 |
| ４．使用する主な薬品の種類と数量※必要に応じて欄は追加してください。 | 種類・名称 | 年間使用量（単位） | 使用目的 | 保管状態 | 導入予定日 |
| メタノール | 10（L） | 溶媒 | 施錠・試薬保管庫A | 20xx年xx月 |
| アセトン | 5（L） | 洗浄 | 試薬保管庫B | 20xx年xx月 |
| N,N－ジメチルホルムアミド | 5（L） | 溶媒 | 試薬保管庫B | 20xx年xx月 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| ５．高圧ガス、溶融金属溶融ガス※必要に応じて欄は追加してください。 | 種類・名称 | 年間使用量（単位） | 使用目的 | 導入予定日 |
| 窒素 | 7（㎥） | パージ | 20xx年xx月 |
| 酸素 | 1.5（㎥） | バーナー用 | 20xx年xx月 |
| 液化炭酸ガス | 15（kg） | 細胞培養 | 20xx年xx月 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ６．火気使用又は高温を発する機器※必要に応じて欄は追加してください。 | 種類・名称 | 量（単位） | 使用目的 | 導入予定日 |
| ガスバーナー | 1（台） | ガラス細工 | 20xx年xx月 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ７．必要電器容量合計 | 単相 | 三相 |
| NMR　45Aディープフリーザー　15A冷蔵庫　3Aオートクレーブ　15Aインキュベータ　2A | ドラフトチャンバー排風機　5A |
| ８．大重量機器について※必要に応じて欄は追加してください。 | 名称 | 寸法 | 重量（単位） |
| NMR（マグネット） | 1200mm（W）X1200mm（D）X2400mm（H） | 500（kg） |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| ９.騒音・振動の発生の有無及びその対策について | NMRに附属するエアコンプレッサー：防音箱に格納する。 |
| 10．臭気の発生の有無及びその対策について | N,N－ジメチルホルムアミドは特有の臭気を持つ。これを含め有機溶剤は全て局所排気装置内で取り扱う。 |
| 11.有害廃棄物の発生の有無及びその処理方法について | 固形の有害廃棄物は分別保管し、定期的に外部委託処理する。培地などのバイオ系廃棄物は滅菌処理を施す。すべての実験系廃棄物について、京都大学の規定に基づき外部委託処理する。 |
| 12.有害排水の有無及びその処理方法について | 液体廃棄物は専用タンクに貯留後、定期的に外部委託処理し、下水道に放流しない。実験器具の洗浄液も3洗目までは貯留し、排水系に流すのは4洗目以降とする。 |
| 13.有害排気の有無及びその処理方法について※PRTR法指定物質のうち該当するものを申告してください。PRTR法指定物質でないものでも新規物質等で有害である可能性のあるものはすべて申告してください。また無害化等の処理方法を記入してください。 | PRTR指定物質：N,N－ジメチルホルムアミド局所排気装置にスクラバー（乾式）を装備し、周辺への臭気の拡散を防止する。スクラバーは毎月点検を行い、吸着能力が低下していれば速やかに交換する。 |
| 14.労働安全衛生計画 | 関連法令ならびに規程等を遵守し「安全衛生の手引き」に記載された手順や注意事項に従う。また、実験を実施する上での責任体制、その役割について明確にする（組織図は別紙参照）。緊急時における体制を、京都大学との連携を含めて計画し組織する（組織図等は別紙参照）。 |
| 15.その他 |  |